
新型コロナウイルス感染予防・拡大防止にかかる学生・教職員の行動指針

新型コロナウイルスの感染者が、再び増加してきています。

最近の新型コロナウイルスの特徴として、若者の間で拡大し、しかも感染経路が不明なパターンが多いという報告がなされています。このことは、私たち一人ひとりが気をつけて過ごしていたとしても、市中での感染が避けられないこともあるということを意味しています。

新型コロナウイルス感染は、無症状や軽症で済む人も多いのですが、一定割合で重症化する場合があります。このことから、自分の行動が、自分自身だけでなく、自分の大切な人を含む多くの人の健康や生活に影響を与えるということを強く意識する必要があります。

これまでも、大学キャンパス内での感染予防・拡大防止対策に協力いただきましたが、今一度、自身の感染予防のための行動、及び、他者に感染させないための行動を徹底する契機として、下記の行動・活動指針に照らし合わせ、**自分と他者と社会を守るために自身の行動を見直してください。**

日常的な感染予防の徹底

◇ 感染予防の基本として、下記の行動を徹底する。

<基本的な感染対策>

手洗い、手指消毒	教室に入るとき、飲食前後、トイレの後、共用のものに触れたときなどに必ず行う。
マスク着用	自身の飛沫を他人へ飛ばさないようにする。
ソーシャルディスタンスの確保	できるだけ2メートル、最低1メートルは距離を置く。

◇ 外出前に検温する。

- ・ 通学・通勤前には、必ず検温のうえ、登校前に自宅から検温専用サイトにて報告する。

◇ 発熱や体調不良等がある場合は、登校を控え、大学（学生課）に連絡する。

◇ 「3密」（密閉・密集・密接）が発生しやすい場所や行事等への参加は、やむをえない場合を除いて控える。

<「3密」（密閉・密集・密接）>

密閉	換気の悪い密閉空間
密集	多くの人が密集する場所
密接	間近で会話や発声をする密接場面

感染リスクを減らすための自覚ある行動

- ◇ 家族以外での多人数での会食、自宅や下宿等での友人・教職員間など複数人による飲食、飲酒、パーティ、勉強会等の集まりを行わない。
- ◇ 飲食しながらの大声での会話を控える。
- ◇ 感染防止対策を行っていない飲食店、カラオケボックス、ライブハウスの利用、イベント参加、旅行などを控える。
- ◇ アルバイト先の職場環境を確認し、感染リスクが高いと判断される場合には、アルバイト先を変更するなど感染リスクの低減に努める。
 - 例) ・スタッフの体調管理、スタッフへの手洗い・うがいなどの指導・遵守がなされているか
 - ・職場でのソーシャルディスタンスが確保されているか
 - ・職場環境は、「3密」(換気の悪い密閉空間、多くの人が密集する場所、間近で会話や発声をする密接場面)を避けた環境か
- ◇ アルバイト先での感染リスクへの不安、その他アルバイト先の職場環境に不安がある学生は、大学(学生課)に相談する。

健康状態に異変を感じた場合

<本人>

- ◇ 37.5度以上の熱、息苦しさ、倦怠感等の症状がある場合は、各自判断のうえ、医療機関を受診するなどの対応する。
同時に、大学(学生課)へ連絡する。

<濃厚接触が疑われる場合>

- ◇ 濃厚接触者(※下記)、あるいは濃厚接触者の家族の場合
 - ・濃厚接触者であるかどうかの判断は、通常、保健所の調査により決定されるため、これに従う。
 - ・濃厚接触が疑われる場合は、速やかに大学(学生課)へ連絡し、大学の指示を待つ。

<新型コロナウイルス感染症 濃厚接触者とは>

患者(確定例)の感染可能期間(新型コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した2日前から隔離開始までの期間)に接触した者のうち、次の範囲に該当する者

- ・患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者
- ・適切な感染防護無しに患者(確定例)を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者(確定例)の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他:手で触れることのできる距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策無しで、患者(確定例)と15分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する)

(引用:国立感染症研究所感染症疫学センター「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」)

<その他>

- ◇ 教職員は、自身の健康管理のみならず、担当の学生の健康状態に注意を払い、異常が認められた場合は、速やかに責任者に報告する。

通学・通勤時における注意

- ◇ 通学・通勤時の感染予防対策については、各自が十分に注意をする。
- ◇ 大学バス乗車の際には、マスクを着用し、私語をしない。
- ◇ 大学到着後は速やかに手洗いをするなど、各自基本的な感染対策を徹底する。
- ◇ 可能な限り、混雑した時間帯の通学・通勤を避ける。

講義及び実習関係について

- ◇ 対面授業の際は、教室入室前に手指消毒の徹底、自身で使用した机・器具等は各自清拭する。
- ◇ 昼食は指定の場所で行うこと。弁当等を空き教室で飲食した場合は、使用した机を丁寧に各自清拭する。
- ◇ 大学での授業・業務等が終了したら、速やかに帰宅する。
- ◇ 自宅でオンライン授業を受講するための準備を普段からしておく。

学生の正課外活動について

- ◇ 当面の間、学内・学外での対面・会合などによる正課外活動は全て禁止し、オフラインでの入会・入部勧誘活動は形態を問わず、一切認めない。
- ◇ ただし、「3密」（密閉・密集・密接）を回避できる条件下でのオンライン・クラブミーティング、甲友会管理の下、オンラインでのクラブ紹介・勧誘資料の配付などによる入会・入部勧誘活動は許可する。
- ◇ スポーツ関連団体等での申合せに関わらず、活動を禁止する場合がある。

2020.07.29 甲子園大学